

みやがわのすいみや宮川用水 粟生頭首工

施設の概要

宮川用水地区の基幹水利施設である粟生頭首工は、伊勢市、多気町、明和町、大台町、玉城町内の約5,800haの農地にかんがいを行うために「国営宮川用水土地改良事業（S32～S41）」で建設されました。

その後、河床の低下や洪水の影響で堤体の一部が破損し、取水管理や施設の維持管理に支障をきたすとともに安全性も低下したことから「国営造成施設土地改良施設整備事業（S54～S60）」により緊急的に堤体、護床、護岸、操作設備の整備を行いました。

また、「国営宮川用水第二期土地改良事業（H7～H24）」では、三重県が進める「宮川流域ルネッサンス事業」の一環として、河川の流量回復に取り組みため右岸側に下流放流工（魚道形式）を新設するとともに水管理施設の更新、管理事務所の移設を行いました。



施設の諸元

河川	一級河川宮川
型式	フローティングタイプ
位置	三重県多気郡大台町粟生
河川状況	流域面積 497.3 km ² 計画洪水量 5,700 m ³ /s 平均河床標高 EL.32.30 m
堰	堤長 189.65 m 堤高 5.5 m 浸透性地盤上重力式コンクリート堰堤
取水位	EL.40.35 m
最大取水量	10.438 m ³ /s
土砂吐制水門	幅 10.0 m × 高 4.2 m × 2 門 ワイヤロープクワイン式鋼製ローゲート
洪水吐制水門	幅 20.0 m × 高 2.7 m × 2 門 油圧シリンダ - 式溢流型鋼製自動転倒堰
調節制水門	幅 2.0 m × 高 2.1 m × 1 門 油圧シリンダ - 式溢流型鋼製自動転倒堰
取入水門	幅 3.0 m × 高 2.3 m × 2 門 油圧シリンダ - ワイヤロープクワイン式鋼製ローゲート
下流放流工	幅 3.00 m 及び 1.80 m (2 連) 魚道形式 ※H22 新設
調節水路	幅 2.0 m × 高 2.26 m 鉄筋コンクリート
エプロン	幅 120.55 m × 延長 57.5 m コンクリート
護床工	幅 121.00 m × 延長 44.5 m コンクリート製三連ブロック工
管理事務所	鉄筋コンクリート平屋建 ※H22 移築
安全施設	監視用端末 1 台、カメラ 4 台 予備発電機 1 台

アマゴ

冷たい水を好み、川の上流域にすむ。アマゴとサツキマスは同種であるが、海に下らないものをアマゴ、海に下るものをサツキマスと呼んでいる。水産上重要種である。



アユ

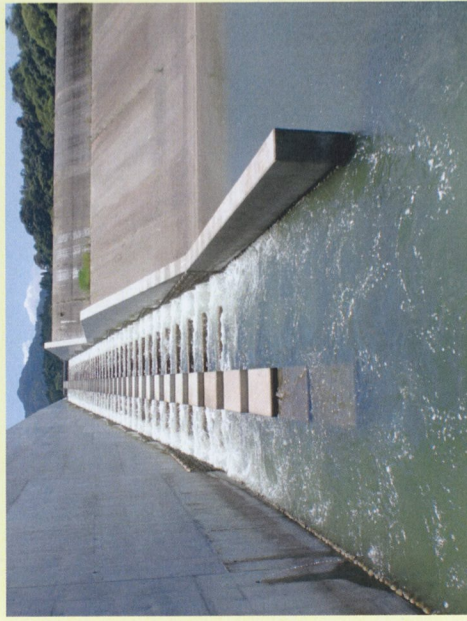
水のきれいな川の中流域にすむ。河川（淡水域）と海を往復する回遊魚（遊泳魚）。河川漁業で最も重要な魚である。



下流放流工の新設について

三重県は、清流に象徴される豊かな自然と優れた地域資源を持つ宮川流域を「日本一の清流」として次世代に引き継ぐことができるよう、地域との協力のもと、環境問題や地域振興問題などの諸課題を総合的、一体的に捉えて取り組むことを目的に「宮川流域ルネッサンス事業」の創設を行いました。

これに伴い、粟生頭首工においても下流放流量の増量（0.5m³/s→0.842m³/s）、多様な魚種への対応が可能となるよう魚道形式の下流放流工を新設しました。



農林水産省東海農政局
宮川用水土地改良区